

# 統計とっとり

平成 14 年 3 月 28 日

第 88 号

鳥取県企画部統計課

鳥取県統計協会

0857-26-7103



## 第51回 鳥取県統計大会

平成13年11月29日米子市の米子コンベンションセンター小ホールにおいて第51回鳥取県統計大会が盛大に開催されました。

県内で統計や調査に携わる方々など約200人が出席され、定刻の1時に始まり最初に主催者を代表して西原昌彦鳥取県出納長から挨拶がありました。

次に表彰式に移り、平成12年度に統計調査に功績のあった個人、事業所、団体に対し西原出納長、内海鳥取県統計協会長（鳥取県企画部長）からそれぞれ鳥取県知事表彰、各省大臣表彰伝達、鳥取県統計協会長表彰、全国統計協会連合会長表彰の伝達が行われました。

続いて、平成13年秋の叙勲において勲六等瑞宝章を受賞された米子市の統計調査員中原一夫さんの紹介がありました。次に受賞者を代表し

て経済産業大臣表彰を受賞されました米子市の統計調査員山根啓子さんが今後の抱負等を交えて謝辞を述べられました。

このあと、記念講演として鳥取大学教育地域科学部の國歳真臣教授から「国勢調査からみた現代家族～核家族から個人化する家族へ～」と題して会場の一人一人に語りかけるように講演をしていただきました。続いて、平成12年度より実施されている統計普及推進員を代表して鳥取市の高野千秋さん、倉吉市の仲倉慎治さん、日野町の石田茂雄さんが普及推進員としていろいろ経験された体験を踏まえた貴重なお話があり、第51回鳥取県統計大会は盛大かつ和やかな内に幕を閉じました。

この大会の開催に御協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

## 平成13年秋の叙勲



平成13年秋の叙勲で、本県において40年余の永きにわたり統計調査員をつとめられた中原一夫さん(米子市)が、勲六等瑞宝章受章の榮に浴されました。

### 叙勲の喜び

中原 一 夫

この度、思いがけない叙勲の通知を頂きびっくりしました。

夢想だにしなかったことです。

勲六等瑞宝章という身に余る榮譽を賜り、こんなに喜ばしいことはありません。

古い言葉ですが、「男子の本懐これに過ぐるものはなし」の心境です。これも一重に皆様方のお陰だと思っております。ほんとうに有り難うございます。

統計調査は一人では出来ません。頼む人、頼まれる人、世話をする人、される人と二つの視点があります。この二つの視点を上手く結ぶため、私は常に統計調査には信頼性、信憑性が大切だと思っておりますし、常に信頼されるように、又頼りにされるように努力して参りました。お陰様で四十数年間、市民の皆様には快く調査を引き受けて頂きここまで続けられたものだと思っております。どう言ってお礼を言ってよいのか感謝の言葉がございません。

思い起こせば昭和37年、初めて調査員として工業統計調査員を命ずる辞令を頂いて以来、毎年実施される工業統計調査のほか、商業統計調査、事業所・企業統計調査、国勢調査指導員など、現在に至るまで様々な統計調査に携わってきましたが、よくぞここまで続けられたものだと思っております。

この間にはいろいろな出来事がありました。訪問先で犬に噛まれたこともありましてし、泥棒と間違えられたこともありまして。ある訪問先では、昼間何度訪問しても留守のため、早朝あるいは真夜中に訪問するのが常となることもありまして。

家の敷地面積が分からないと言われ、実際に敷地を測って面積を割り出したことも珍しくありませんでした。

また、調査員として活動していく中で、家族の数知れない犠牲もありました。とりわけ、内助の功という面では大変感謝しております。食糧事情の苦しかった頃から苦勞をかけ、これから一体どうなるのだろうかと先行きが不安であった、五里霧中の月日が今となって懐古されるばかりです。

最近の経済情勢悪化のため、統計調査活動が厳しくなっていますが、その一方で、統計調査の重要性が認識されつつあり、調査もスムーズに実施される場面もみられるようになりました。

また、一昨年の鳥取県西部地震では、地震の発生時が調査票の回収時期と重なったこともあり、うまくいくのだろうか心配しておりましたが、無事調査を終了することが出来、ほっとしたものでした。国勢調査を終わって感じたことは、十年前に比較して米子市では人口増を見たことを喜ばしく思いましたが、老人よりも若い人が少なくなっていることに淋しい限りですが、時代の流れとは言え不安を感じたものでした。又、老人の単身世帯、いわゆる独居老人が多くなり調査票の聞き取り調査の多くなっていることも事実です。

最後になりましたが、今日まで数々の調査に携わり叙勲の榮に浴しましたことは皆様のご協力とご援助のたまものと深く感謝してお礼申し上げます。

これをステップに益々精進しご恩に報いたいと思っております。

# 平成13年度統計功労者表彰

平成13年11月29日、平成13年度統計功労者の表彰が米子コンベンションセンターで行われました。  
 なお、本年度の統計功労者は次の皆さんです。

## ◎鳥取県知事表彰

鳥取県鉱工業生産動態調査 調査員 藤本 隆子 (境港市)  
 事業所 日本フェラス工業(株) (米子市)

(敬称略、順不同)



## ◎総務大臣表彰

労働力調査 調査員 藤原 君枝 (鳥取市)  
 小売物価統計調査 〃 岩成 雅子 (鳥取市)  
 各種統計調査 〃 亀井 益子 (米子市)  
 〃 浪花 久子 (東伯町)

## ◎経済産業大臣表彰

工業統計調査 調査員 山根 啓子 (米子市)

## ◎厚生労働大臣表彰

毎月勤労統計調査 調査員 山本 公子 (鳥取市)  
 事業所 鳥取大学医学部附属病院 (米子市)  
 〃 柳吉谷機械製作所 (鳥取市)  
 〃 北陽冷蔵(株) (境港市)  
 〃 矢崎部品(株)根雨作業所 (日野町)  
 〃 柳河金組 (倉吉市)



## ◎経済産業省経済政策局調査統計部長感謝状

工業統計調査及び生産動態調査 調査員 福田 富子 (米子市)



## ◎鳥取県統計協会会長表彰

調査員表彰	調査員	岩成 雅子 (鳥取市)
〃	〃	大坪 宣子 (〃)
〃	〃	加藤 光子 (〃)
〃	〃	加藤 健治 (〃)
〃	〃	福松 英代 (〃)
〃	〃	山口 百合子 (〃)
〃	〃	山本 公子 (〃)
〃	〃	三本 二郎 (米子市)
〃	〃	西谷 君代 (倉吉市)
〃	〃	松本 貴志 (境港市)
鉱工業生産動態調査	事業所	トミサワ (智頭町)
〃	調査員	山口 登喜子 (大栄町)
小売物価統計調査	〃	永田 見千代子 (岩美町)
市町村職員表彰	市町村職員	高田 裕子 (鳥取市)
〃	〃	中山 厚和 (郡家町)
県職員表彰	県職員	中山 祥和
〃	〃	中田 和栄

## ◎全国統計協会連合会会長表彰

調査員表彰	調査員	安達 早苗 (米子市)
〃	〃	小谷 邦子 (鳥取市)
〃	〃	小麻 佳江 (〃)
〃	〃	石本 江子 (倉吉市)
〃	〃	足立 純夫 (境港市)
〃	〃	橋本 敏子 (岩美町)
〃	〃	本家 一郎 (若桜町)
〃	〃	植田 勉 (三朝町)
県職員表彰	県職員	花原 一明
〃	〃	清水 雄広



## ◎勲六等瑞宝章

調査員 中原 一夫 (米子市)

# 平成13年度鳥取県統計グラフコンクール入賞者

平成14年9月17日に鳥取県統計グラフコンクールの審査会が開催され、次の皆さんが入賞されました。  
(敬称略)

## 鳥取県知事賞

**第1部** 伊木雅宏・本庄 幼和  
鳥取市立湖南小学校 2年



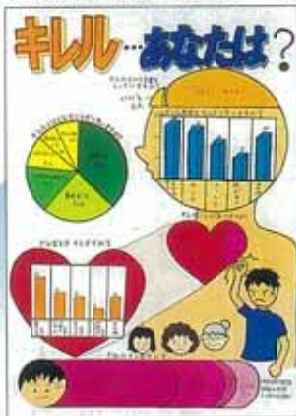
「ぼくのわたしの夏休み」

**第2部** 岸本 玲子  
鳥取市立城北小学校 3年



「朝食をすると げんきになるよ」

**第3部** 竹内 裕美  
鳥取市立湖南小学校 6年



「キレル…あなたは?」

**パソコン統計  
グラフの部** 北野 企利子・遠藤 真希  
赤碓町立赤碓中学校 3年



「少年たちは今…」

## 鳥取県教育長賞

**第1部** 岸本 晃一  
鳥取市立美保南小学校 2年



「おいしい うめになあれ!」

**第2部** 山下 竜  
北条町立北条小学校 4年



「家族で協力しているかな?」

**第3部** 細 砂 茉 希  
鳥取市立岩倉小学校 6年



「もうすぐ中学生 今の気持ちは」

**パソコン統計** 新 山 卓 央  
グラフィックの部 米子市立加茂中学校 3年



「宗教って死後の保険!？」

鳥取県統計協会長賞

**第1部** 片 山 知 奈 美  
鳥取市立城北小学校 2年



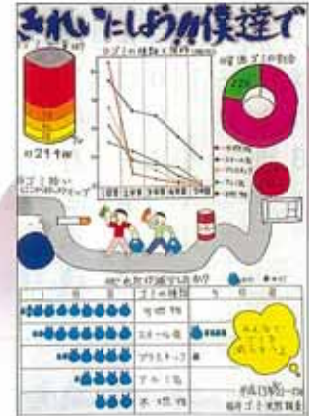
「おとなの人たち  
ぐっすりねむり すっきりめざま」

**第2部** 奥 田 尚 子  
鳥取市立城北小学校 3年



「やっぱり 友だちっていいな」

**第3部** 福 本 泰 之・中 谷 聡 亮  
鳥取市立湖南小学校 6年



「きれいにしよう!!僕達で」

● 清 水 優  
境港市立外江小学校 2年  
「だいすきスイミング」

● 高 田 沙 織・苗 村 美 希・有 田 有 香  
鳥取市立城北小学校 4年  
「『早くしなさい』っていわないで  
子どもたちのストレス知っていますか?」

● 安 養 寺 沙 織  
鳥取市立城北小学校 5年  
「子どもの交通事故発生  
いつ・どんなとき?」

● 村 上 歩 未  
鳥取市立湖南小学校 4年  
「勉強大好き」

● 上 原 佳 奈・花 原 美 咲・渡 辺 友 紀 子  
鳥取市立城北小学校 5年  
「これでいいかな 小学生!？」

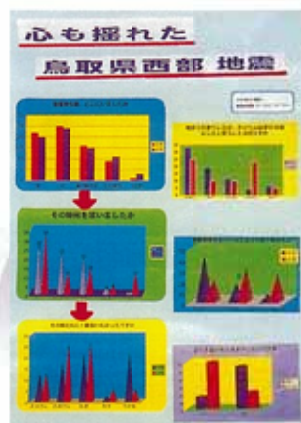
パソコン統計  
グラフの部

福本 元気・勝部 敬規  
安田 綾  
鳥取市立日進小学校 6年



「100人に聞きました  
小泉総理人気の秘密」

吹野 貴俊  
西伯町立西伯小学校 6年



「心も揺れた 鳥取県西部地震」

那須 昭仁・足立 健  
赤碓町立赤碓中学校 1年



「捨てる世紀から 生かす世紀へ」

◎佳作

第2部 羽田 早織 鳥取市立城北小学校3年 「3年生のけんこう チェック」  
清水 慶 境港市立外江小学校4年 「走れ はまる一歩バス」  
永井 芽生 鳥取市立岩倉小学校4年 「ティームティーチング」

第3部 小田 有希 境港市立外江小学校5年 「生きるってどうゆうこと」  
岸本 志織 } 鳥取市立城北小学校6年 「自分の将来を 考えてみませんか」  
山根 宙子 }  
辰巳 綾野 }

第5部 安藤 真美子 } 県立米子西高等学校3年 「どうして僕をいじめるの「虐待」」  
入江 裕子 }

パソコン統計グラフの部

長田 彩 } 鳥取市立日進小学校6年 「優しい中学生に になりたいな」  
久賀 由香里 }  
浅井 千衣里 }  
吹野 裕太 西伯町立西伯小学校4年 「ジュニアトライアスロンin岸本」  
安藤 智弘 米子市立加茂中学校3年 「鳥取県西部地震 風評被害はあったのか」

◎優秀校

小学校 鳥取市立岩倉小学校・鳥取市立城北小学校・鳥取市立湖南小学校  
鳥取市立日進小学校・境港市立外江小学校  
中学校 米子市立加茂中学校

注) 第1部：小学校1・2年生  
第2部：小学校3・4年生  
第3部：小学校5・6年生  
第4部：中学生（今回応募無し）  
第5部：高等学校の生徒・学生、一般  
| 印は共同作品

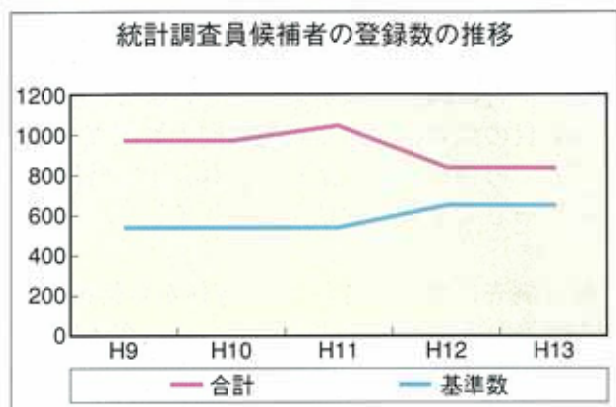
# 統計調査員候補者の登録状況

統計調査員確保対策事業による鳥取県内の統計調査員候補者の平成9年から13年までの登録状況についてみてみたいと思います。

## 1 登録数の推移

統計調査員候補者として登録されている数は、平成12年に減少に転じ、13年には微増となった。

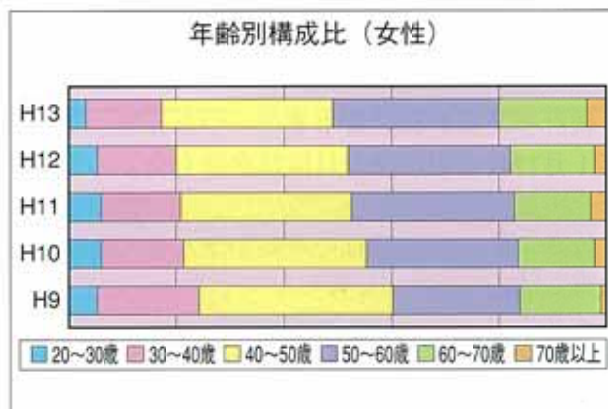
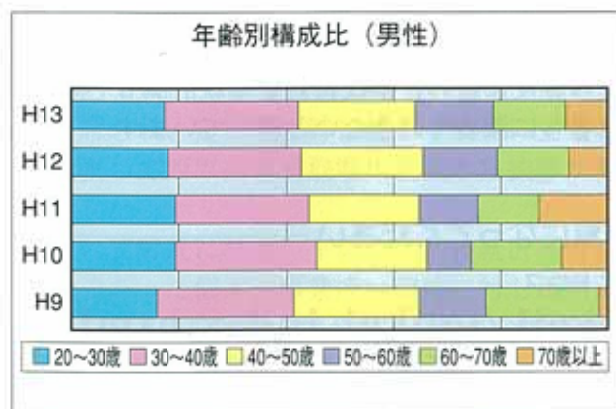
平成12年に登録基準数を増加したが、登録されている調査員候補者の数は平成9年以来登録基準数を上回っている。



## 2 年齢別構成比

年齢別にみると、最も多いのが40～50歳、続いて50～60歳となっている。

男性は30～40歳が最も多く、続いて40～50歳となっている。女性は40～50歳が最も多く、続いて50～60歳となっている。また、50～60歳の年齢層は平成9年に比べ最も増加している。



## 3 回数別構成比

過去1年間に統計調査員に任命された回数別にみると0回が最も多い。

男性は、平成9年には0回が最も多かったが、平成12年、13年には1回が最も多くなっている。女性は、最も多いのは0回で続いて1回、2回となっている。



# 統計普及推進員 鳥根県統計調査員協議会連合会と交流研修

## はじめに

統計普及推進員設置事業の一つとして、平成14年1月17日鳥根県調査員協議会連合会との交流研修を実施しました。

皆さんの日ごろの行いが良かったのか心配された雪も降らず、ほっと胸をなで下ろした朝でした。マイクロバスで午前8時鳥根県庁を出発しましたが、交通渋滞も少なくわりとスムーズに会場の鳥根県民文化会館に着くことができました。

## 交流研修の概要

鳥根県からは鳥根県統計調査員協議会連合会の会長さん（出雲市）を初め、松江市、浜田市、安来市、平田市それに大社町の各支部から副会長・理事さんが6名、鳥根県から1名、お忙しい中を遠路参加してくださっていました。鳥根県からは13名の普及推進員、県から2名の参加でした。

鳥根県からの参加者は、女性1名で男性がほとんど、逆に鳥根県からは男性は3名で貴重な存在、主として女性のパワーに支えられているという感じでした。

鳥根県調査員会の平野会長から、平成8年度鳥根県であった全国統計大会の時から交流に対する熱い思い、交流で勉強したことを鳥根県に持ち帰って研修会等で生かしたいとのあいさつがありました。

次いでそれぞれの県の代表から（1）鳥根県統計調査員会の発足について、（2）鳥根県統計調査員協議会連合会の組織等について説明を受けました。

## 意見交換

- ・プライバシー意識の向上、経営の行き詰まった事業所等による調査拒否など調査環境が悪くなっている状況
- ・事業所の統合・移転・構造改革等が進んでいる実態
- ・何回行っても会えない事業所の調査不能について
- ・門札も郵便受も電話もないアパートへの対応
- ・単身世帯の調査依頼がより難しいこと
- ・調査員の調査に対する意識の向上等調査を経験されての体験が多く話し合われ、予定時間をオーバーして活発に意見交換をしました。

統計調査に携わる者が（1）客体から信頼され、頼りにされるよう努力すること、（2）客体に納得して協力していただく話し方を勉強していく必要性等を再確認して、県民の統計調査に対する理解を深めてもらうための活動につなげていくことを決意し帰路につきました。

## 終わりに

あわただしい1日でしたが、この交流をもとに平成13年度第2回全体研修会は、元山陰放送アナウンサーの浜田妙子氏を迎えて「より良いコミュニケーションを求めて」の内容で3月19日開催しました。

統計普及推進員の方々の地域での活動に支えていただいて、データの紹介や統計の利活用についての普及に努め、県民に対する統計調査への理解をさらに深めていきたいと願っています。

統計課のホームページもご覧ください

ホームページアドレス

[http://www.pref.tottori.jp/tokei1/toukei\\_index.html](http://www.pref.tottori.jp/tokei1/toukei_index.html)

鳥根県統計情報に関する問い合わせ先

鳥根県企画部統計課

TEL 0857-26-7104 FAX 0857-23-5033

メールアドレス toukei@pref.tottori.jp